

# 農作物技術情報 号外 台風対策

発行日 平成23年8月30日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

気象庁発表（8月30日9時現在）によると、台風12号が岩手県に接近するのは9月3日と予想されています。

今後の気象情報に注意するとともに、農作物被害を避けるための防止対策を適切に行いましょう。

## 畜産

飼料用トウモロコシ 倒伏・折損時は早期に収穫を！

収穫時の作業機の運行速度はやや控えめに！

トウモロコシの流通・利用は、自粛解除後に！

- (1) 熟期は黄熟期に到達しつつあるので、倒伏や折損した場合、できるだけ早期に収穫します。  
なお、飼料用トウモロコシについては、現時点では流通・利用の自粛が要請されており、これから市町村単位に実施される放射性物質の検査で、放射性セシウムが暫定許容値（300ベクレル/kg）以下の場合、自粛解除となり利用と流通が可能となります。
- (2) 収穫にあたっては、ハーベスタの収穫方向をよく考え、作業機の運行速度を控えめにします。  
また、やや高刈りとするなど収穫時の土壌などの混入を避けましょう。
- (3) 倒伏や折損の場合は、切断長が粗くなりやすいことから詰込み密度を確保するために、十分な踏圧と早期密封に努め、発酵品質低下を抑制しましょう。